



「魚沼コシヒカリの産地 津南町で稲刈・はざかけ体験！」 10月1日・2日 ライラ研修



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために



ガバナー月信
2011.11.01

Vol. 5

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2	11月地区の予定	10
ロータリー財団月間	3	クラブ紹介 新潟ロータリークラブ	11
国際親善奨学生オリエンテーション	5	クラブ紹介 三条南ロータリークラブ	11
米山奨学委員長セミナー	6	新入会員・物故会員	12
ライラ研修会	7	ガバナーノミニー決定	13
IM 報告	8	出席報告	
		ハイライトよねやま / 文庫通信	

石本ガバナー事務所 〒951-8053 新潟市中央区川端町2丁目12 2階 TEL: 025-201-7802

国際ロータリー第2560地区2011-2012年度ガバナー：石本 隆太郎

ガバナーメッセージ

11 月はロータリー財団月間

「未来の夢計画」への積極的参加を期待して！



ガバナー 石本隆太郎

10 月 1 日（土）、R I 第 2560 地区の第 11 回ライラ研修・開講式で津南を訪れた際は、黄金色の稲穂で埋め尽くされていた田んぼも、24 日の津南 R C の公式訪問時にはすっかり刈取りが終っておりました。山々の紅葉も始まってきており、改めて季節の移り代わりの速さに驚かされます。

10 月も 12 クラブの公式訪問に加え、週末毎に米山奨学委員長セミナー、同期ガバナーの地区大会訪問等で、東奔西走、多忙な毎日に追われながら、27 日の妙高高原クラブで 39 クラブの公式訪問を終え、残り 18 クラブとなりました。

10 月 29 日（土）には、地区行事としては初企画の「地区内クラブ会長会」を、湯田上温泉「わか竹旅館」で開催。東山ガバナー年度の地区決算案の審議、2013 年の規定審議会に提出する立法案の採択等の後、各クラブ間の情報交換を兼ねた懇親会で、大いに盛り上がりました。

11 月は「ロータリー財団月間」です。ロータリー財団については、公式訪問の際でも、クラブ R 財団委員長の皆さんから、「難しくてよく分らない。」という声が多く聞かれました。これは、日本独自の奨学金制度である米山奨学会と比べ、財団への寄付金が、「シェアシステム」という制度により 3 年間投資運用された後、年次プログラム基金が地区財団活動資金（DDF）と国際財団活動資金（WF）に 50%ずつ分けられるという、複雑な配分方法をとっているからと思われます。

さらに、2017 年にロータリー財団が創立 100 周年を迎えることを踏まえ、奉仕の第二世紀に移行するため「未来の夢計画」が発表になりました。この辺につきましては、今月号の月信の中で 中條 耕二 地区ロータリー財団委員長が詳しく述べておられますので、よくお読みいただきたいと思います。

「未来の夢計画」は、2010～11 年度から、世界の 100 地区がパイロット地区に選ばれ、我が国では 2580 地区、2650 地区、2690 地区、2760 地区、2770 地区、2830 地区の 6 地区がパイロット地区として、試験的活動を始めております。

当地区のようにこの試験段階に参加しない地区は、2013～14 年度に新補助金モデルが世界中で導入されるまでは、現行の補助金構成に沿って運営され、2013 年 7 月から、世界中の全地区で「未来の夢計画」が実施されることになっております。2012～13 年度に開始される、新補助金モデルに関する研修会には、地区ロータリー財団委員会はもとより、各クラブ・ロータリー財団委員長の積極的参加が必要となります。今から、情報収集に努めていただきたいと思います。



11 月は財団月間です。

ロータリーの財団について お互いに理解を深めましょう

ロータリー財団委員長

中條 耕二(三条北 RC)

未来の夢計画の誕生

ロータリー財団が 2017 年に創立 100 周年を迎えます。ロータリー管理委員会は、財団が奉仕の第 2 世紀に移行する為の計画、未来の夢計画を立てました。そして 2005 年 2 月、ロータリー財団は、世界に 100 地区、パイロット地区として、未来夢計画を開始しました。我が地区はそこに入っておりません。財団をもっと簡素に、地区に権限を移行しようとの事と聞いております。

何故、未来の夢計画が必要なのか

1965 年に開始されたマッチング・グラント、人道的プログラムが最初の 35 年間、1 万件、2000 年 - 2004 年のわずか 4 年間で 1 万件、2004 年 - 2008 年で 1 万件的マッチング・グラントが授与され、シカゴのエバンストン本部の 600 人の職員が裁ききれなくなってしまう、RI 理事会と財団管理委員会は、慈善事業分野において大きな成果と長期的なプログラムを目指し、財団プログラムを簡素化する必要から、2005 年 2 月から、未来の夢計画を開始しました。

2017 年ビジョン — 第 1 級の財団を目指す

世界の中で、上位 50 位に入る財団。

第 1 目標は、ポリオを地球上からなくす。

財団の標語は、世界で良い事をしよう。

1917 年に元 RI 会長、アーチ・クランプが残した有名な言葉です。

財団の使命

ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成出来るようにする事である。

未来の夢計画の目的 5つの目標

1. プログラムと運営の簡素化 2. 成果の出る奉仕活動に焦点を絞る 3. 世界的目標と地元の目標、両方を果たす溜めの資金の提供 4. 意志決定権を地区とクラブに移行する事によって、地区レベル、クラブレベルで財団が自分達のものであるという自覚を高める 5. ロータリー財団の活動に対する理解を深め、ロータリーの公共イメージを高める。

期待される成果

1. グローバル補助金プロジェクトの規模の大きさと継続性により、世界中で多くの人に援助の手を差し伸べ、素晴らしい活動が行える。
2. 新地区補助金の管理、運営が地区レベルで行う。事務手続きの簡素化、地元あるいは、世界のニーズに速やかに応えられる。
3. 公共イメージが高まる事で、会員増強が進む。財政的支援も増える。
4. プログラム運営費を削減し、2020 年迄に、合計 600 万ドルのコストダウンをはかる。

ロータリー財団のプログラム

1. 人道的プログラム

マッチング・グラント(Matching Grant)

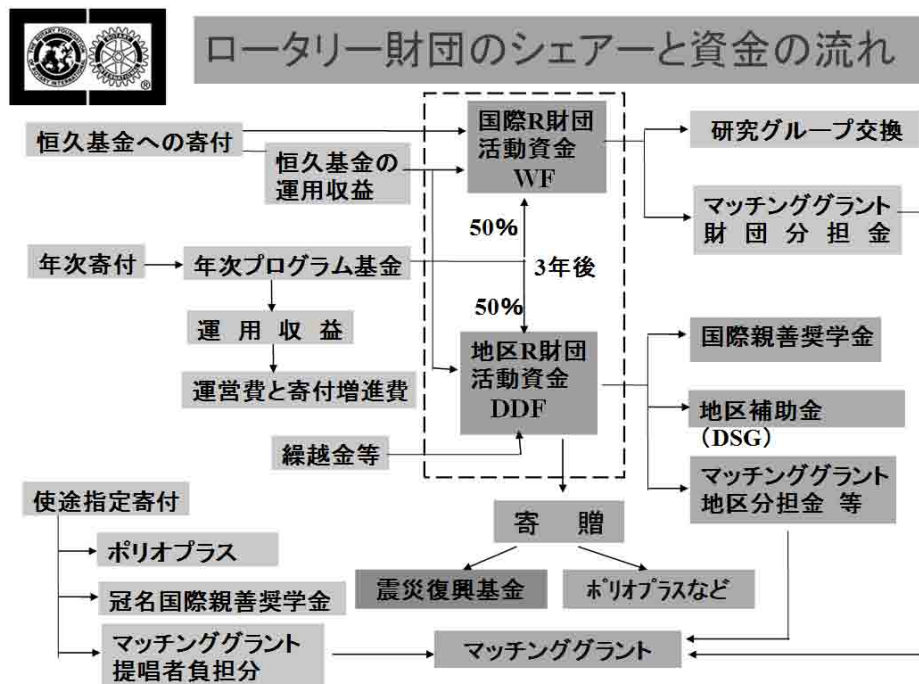
直訳すると、ふさわしい相手、縁組み、授ける、与える、叶えてやる。

最初は、特別補助金または同額補助金と呼ばれ、人道的プログラムに限られた。

2. 教育的プログラム

国際親善奨学生の奨学金、GSE(職業訓練の為の研究グループ交換)

3. ポリオ・プラス



1983 - 84 年度に、11 月を財団と定め、RI 理事会と財団管理委員会は、毎年 11 月 15 日を含む 1 週間をロータリー財団週間とする事に決めました。

略語

DDF(District Designated Fund) : 地区財団活動資金

WF(World Fund) : 国際財団活動資金

地区財団委員会の日程

- | | |
|--------|--|
| 2011 年 | 11 月 23 日(水) 全国財団地域セミナー(大阪国際会議場) |
| | 11 月 28 日(月) フィリピン第 3800 地区 マッチング・グラント視察 |
| 2012 年 | 2 月 18 日(土) 第2回財団セミナー(ホテルオークラ) (57 クラブ財団委員長対象) |

財団への寄付

主な寄付は、年次寄付・恒久基金寄付・使途指定寄付・冠名奨学金などがあります。

ロータリークレジットカードも入会をお待ちしております。0.3%還元されております。

年次寄付プログラム基金は、寄付額の 50%は DDF として 3 年後に地区に還元され、寄付額の 50%は WF として人道的プログラムなどを賄う資金となります。

ロータリー財団は、日本政府から財団法人として認定され、本年 4 月より公益法人として、税制上の優遇も受けられるようになりました。財団について分かりにくい点は、ご遠慮なくガバナー事務所へお問合せ下さい。また、例会に卓話者としてご指名されればお伺い致します。11 月は財団月間です。この機会にお互い理解しましょう。

2012—13 年度国際親善奨学生オリエンテーションを終えて

ロータリー財団委員会 奨学金委員長 野澤 正信(新潟北RC)

2012 年度に派遣する国際親善奨学生のオリエンテーションが 9 月 23 日（金）に万代シルバーホテルで開催されました。緊張のなかにも合格した安堵感からか、晴れやかな表情が垣間見られる 4 人の合格者を迎え、推薦奨学生 4 人のカウンセラーやクラブ会長らの出席を頂き、オリエンテーションを迎えることが出来ました。

派遣奨学生の推薦、カウンセラーをお引き受けくださった各クラブの皆様に、改めて御礼申し上げます。

振り返れば、4 月に行われた募集説明会、8 月に行われた派遣選考会を経てのオリエンテーションは、3 名の募集に対し 7 名の応募を頂き、3 名の奨学生を選考すると云う非常に難しい人選でスタートしました。驚いた事に 7 名中 7 名が素晴らしい論文を提出し、自己実現のための目標意識の高さに、甲乙つけがたい秀作ぞろいでした。

中東クエートとの経済的結びつきを研究する大学院生や、社会人を経験しながらも自己の夢を持ち続けた記者経験者、電力会社に席を置いた経歴の IT 技術者、オペラ歌手を目指す音大生、ロシアとの交流を目指す外語大生等、優秀な学歴と多才な人材が奨学生として応募して来ました。

選考には、中條財団委員長や石本ガバナー、鈴木ガバナーエレクトを交え財団委員 3 名を加え 6 名で選考にあたり、選考に際しては委員一同大いに悩みました。最終的には委員長判断にて 3 名を選考するに至りましたが、昨年度の奨学生が 1 名辞退しましたので、今回は 1 名追加して 4 名（男性 2 名・女性 2 名）を奨学生として 2560 地区から派遣する事を決定しました。

今後、こうした優秀な人材を発掘し財団奨学生として派遣するには、地区に散らばっているこれらの人材を、いかにして各クラブが推薦し応募するかにかかっています。ロータリー財団を作ったアーチ・クランフは、「金だけではたいした事は出来ない。しかしロータリアンのサービスは、金がなければ無力である。この金と人が組み合わさって天の恵みにする事が出来る。」と述べています。

ご承知のように、国際奨学金は、ロータリー財団発足以来、民間レベルとしては世界最大規模の奨学金制度です。ロータリー財団奨学金の目的は、財団奨学生を他国の教育機関で勉強させることによって、相異なる国民間の理解と友好関係の増進に寄与することにあります。

国連高等弁務官の緒方貞子さんや、宇宙飛行士の山崎直子さんも元財団奨学生です。この他にも多くの方々が社会で活躍していると思います。

足元を見れば、地区の財団委員の中にも元財団奨学生で現ロータリアンの新潟大学教授高橋秀樹さん（新潟 RC）、また財団奨学生でもあり過日 GSE を率いてテキサスに赴いた経験をお持ちで、現医療福祉大学学長の山本正治さん（新潟 RC）がおられます。

このように、時間はかかりますが、未来の社会を築く若者の教育的プログラムによって人材を育てることも、ロータリー財団の使命ではないかと思っております。今後とも 2560 地区ロータリアンの皆様のご協力をお願いします。

第1回米山奨学委員長セミナー

米山奨学委員会 寄付増進委員長 品田 孝行(柏崎RC)

10月15日(土) ホテルオークラ新潟に於いて石本ガバナー出席の下、60名の登録者で第1回米山奨学委員長セミナーが開催されました。

石本隆太郎ガバナー、新保清久委員長の挨拶を頂き、米山奨学の意義目的、昨今の米山奨学について話がありました。その後、DVDを使い「東日本大震災」において世界の米山学友(元米山記念奨学生)より支援物資、義援金、米山奨学生によるボランティア活動の報告と紹介をしました。

又、各クラブよりお配りした米山記念奨学事業「豆辞典」と、今年度目標額18,000円の説明をしました。

その後、7グループに分けて今回のセミナーの目的である「米山月間を成功させる為に」というテーマについて「各クラブの取り組みの現状確認」そして、「米山奨学の更なる充実のために」の2つをテーマにディスカッションを行いました。各グループとも初対面の方が多い中、和気合い合いのうち談笑を交えながらディスカッションが進みました。

そして、各グループより代表による発表を行いました。会員減少、不景気等の要因がある中、米山奨学に対する理解や啓蒙活動を行い意識改革をして協力して頂く方法や、委員長経験をしてもらう等々意見がありました。寄付金も、米山と寄付金を上乗せして集める、ボックスを3つおいて集める、袋を配る、女性会員より集める等々ユニークな意見もありました。

最後に、中村紘一学友委員長より「学友会からのお願い」の話と、寺嶋一夫地区研修委員より講評頂き今回のセミナーを終了しました。



ライラ研修の意義

新世代奉仕委員会 ライラ委員長 高橋 主計(津南RC)

10月1日、2日津南町のニューグリーンピア津南で第11回ライラ研修を終了する事ができました。県内各地区のロータリアン、研修生の皆様から貴重な2日間を実習してもらい有難うございました。

今回は、農作業がメインの稲刈りです。天候に左右される大変厳しい作業です。私の独断の考えで計画してしまい、ホストクラブ、コホストクラブの皆様には、大変なご苦勞をかけたと反省しています。しかし、研修生の皆様には、素晴らしい実習だったと思います。講演会やテレビで見る、聞く農業と違って実際にやってみる事ができ、大変な作業だという事が分かってもらえたと思います。

私も一緒に作業していて、今日は終わらないと思っていましたが、時間が経過するごとに研修生の手や足や体の動き方が素早くなっているのに感動しました。終わった時「ヤッター」と思いました。

それも1時間も残しての余裕の作業終了、各チーム事の作業内容でしたので、他のチームに負けたくないという意識が行動に表れたと思います。1人では大変でも仲間になると力を出せる。これが絆です。目標に向かって前進する。途中で諦めないという事が最後には充実した研修だと思っています。

この体験が、これからの生活の中で少しでも役立てば今回のライラ研修は成功です。研修生の皆様ご苦勞様でした。

ホストクラブ、コホストクラブ実行委員の皆様有難うございました。

地区新世代奉仕委員の役員様3つの委員会の繋がりをしっかり取りながら青少年の育成の努力をいく事が今年度の与えられた仕事だと思います。



クラブの改革を通じてのクラブの活性化



第1分区アシスタントガバナー 川崎 久(村上RC)

鮭・酒・人情の地、村上瀬波温泉大観荘せなみの湯を会場に、第1分区9クラブのロータリアン186名が参加し、石本隆太郎ガバナーをオブザーバーとし、基調講演を高橋登地区クラブ奉仕委員長にお願いし、村上市長大滝平正様も出席しIMは始まりました。

川崎久 AG の点鐘で第1部式典の開始、第2部は基調講演、その後9クラブの改革・活性化の実例発表を頂きました。

クラブの大小はありますが、各クラブが独自に工夫された「CLP」を実行しており、委員会の統合・3年ごとの規定審議会に基づく定款変更・クラブの実情に照らし合わせた細則の見直し・魅力ある卓話・絆を強くする会員家族を入れた親睦会のあり方・新入会員に対する心配り・増強

対策等々、積極的に取り組んでいる様子が見え、今後もクラブの独自性を生かした改革が推進出来るIMでした。第1分区9クラブの皆様、ご協力ありがとうございました。

第4分区IM開催



第4分区アシスタントガバナー 山田 文雄(見附RC)

国際ロータリー第2560地区第4分区のインターシティ・ミーティング(IM)が9月24日見附市本町4丁目のホテルつるやを会場に開かれ、11ロータリークラブのロータリアン200名余が一堂に会して研修と親睦会を致しました。

「語り継ごうロータリーの「奉仕の」心」をテーマに山田文雄 AG が主催、円田 務 会長がホスト役を務め、石本隆太郎ガバナーをはじめとするロータリアンのご参加を頂き、フォーラムでは鈴木重壺ガバナーエレクトより「震災復興支援から学んだこと～奉仕は「恕」の心」と題して講演して頂きました。「恕」は思いやり、同情心、如来のごとき心。「恕」の心を深め地域に貢献しよう。

そして、最後の親睦会ではアトラクションに地元のお神楽を楽しんで頂き、和やかな交流が出来ました。



I・M によこそ

第3分区アシスタントガバナー 小柳 陽一(新津RC)

国際ロータリー第2560地区第3分区の同胞クラブの皆さん、ようこそIMへお越しくださいました。

IM(インターシティ・ミーティング)は、ロータリーの勉強と親睦を図る分区単位で行われる会合です。このIMを開催するにあたり、「何をテーマに」と考えましたところ、長引く不況等によるロータリーの会員数の減少に思い至りました。「不況だからロータリーを辞める」という背景には、日本においてロータリーとは、「金持ちの集まり」、「慈善奉仕団体」的な考えが根底にあるからではないでしょうか。

しかしながら、ロータリーの原点は、不況の真ただ中の都会に出てきた一青年(＝ポール・ハリス)の“友達作り”から始まりました。ロータリーの語源も、会合を各会員の事務所を持ち回るところから来ており、やがて会員同士の「物質的相互扶助」(＝会員同士の商品やサービスを利用しあう)へと発展してはいましたが、そこには、まだ人道的奉仕も贅沢ありませんでした。

このIMでは、「ロータリーとは、世の中の有用な職業人の集まりである」という原点に立ち返り、「ロータリーの楽しさを再発見しよう」をテーマにしました。たとえば、メーキャップ、これはロータリーの出席義務から派生した制度でしょうか？いや、むしろ他クラブの有用な職業人と交流することができるロータリアンの特権ではないでしょうか？しかし、メーキャップをしたことのない会員にとって、初めてメーキャップをするには、或る種の勇気が必要でしょう。そこで、他クラブを身近に感じてもらえ、初めてのメーキャップを後押しするプログラムとして、「クラブ紹介」をメイン企画としました。また、自分たちのクラブを紹介することで、逆に自クラブのいいところを再発見できるかも知れません。それで、ロータリアン各位が、自クラブをますます好きになり、「ロータリーに入ってよかった」と思っただけならば、それが最大のロータリーの退会防止策となるでしょうし、このIMを開催する大きな意義となります。

一方、アトラクションは、皆様にIMのひとときを楽しんでいただけるものを、お土産は、ささやかながら、「奉仕の歓び」を感じていただけるものを企画しました。どうか、参加ロータリアンの皆様には、今日1日、ロータリアン同士の交流を楽しんでいただき、このIMが、「ロータリーの楽しさ再発見」に繋がればと念じております。



第7分区 IM 開催報告

第7分区アシスタントガバナー 月岡 精一(糸魚川中央RC)

9月10日(土)清々しく晴れた日、糸魚川市「ビーチホールまがたま」において第7分区のIMが開催されました。

分区内9クラブより140名の参加を頂きました。

来賓として糸魚川市米田市長より祝辞を頂き、オブザーバー出席の石本ガバナーより励ましのお言葉を頂き、意義ある一日を過ごしました。

勉強会では講師に総務大臣政務官 衆議院議員 森田高さんを迎えて「国民保護 震災復興と安全保障体制について」の演題でお話を聞き、テレビ、ラジオでは聞けない話を聞かせてもらったような気がしました。

終わりに東山直前ガバナーより総評を頂き、ことなく式典及び記念講演が終了する事が出来ました。

会場を移動して交流会を行ない、参加者みんなで親睦を深めました。

親睦会では8月20日に行われましたIM記念ゴルフコンペの表彰式も行ない、和気あいあいの1日でありました。

終わりに第7分区の発展を願って、みんなで「手に手つないで」を歌って終了する事が出来ました。参加して頂いたロータリアンの皆様に感謝申し上げます。



11月 地区の予定 ～～ロータリー財団月間～～

2011年11月		地区主要行事	会場
12	(土)	ローターアクト地区大会	ANAクラウンプラザホテル新潟

2011年11月		ガバナー公式訪問	分区
1	(火)	直江津RC	7
2	(水)	新井RC	7
9	(水)	水原・豊栄RC	1
10	(木)	見附RC	4
11	(金)	吉田RC	4

2011年11月		ガバナー公式訪問	分区
15	(火)	田上あじさいRC	4
17	(木)	加茂RC	4
29	(火)	分水RC	4
30	(水)	新津RC	3

泣き笑いの梨・葡萄狩り

新潟ロータリークラブ会長 佐藤 紳一

1999 年に始まった、交通遺児とのご家族の為に「あしなが事業」、11 回目となる今年は、9 月 10 日に白根の中村観光果樹園を訪れました。7 家族 18 名をご招待し、会員 11 名と事務局でお迎えしました。

秋の 1 日を、ご家族と一緒に笑ったり、お話を伺い、良い時間を共有させていただきました。

行きのバスの中では、私共の意識が強すぎる為か、シーンとし、会話も少なく、ただバスは走るだけでしたが、時間が経つにつれ、ポロポロと子供の生い立ちや交通事故の悲惨さなどを聞き、つい涙ぐんでしまいました。

梨・葡萄を取っている時も私共の気持ちは固いまま。でも、しかしです。食べ物の前に座ればよし。そして誰かが「アハハハ」と笑えば全員「アハハハ」。心が和らぎ、会話も進み、泣き笑いの時間はアツという間に過ぎてしまいました。

新潟クラブメンバーは来年もこの事業を行う事を各自心の中で決めたのではないのでしょうか。楽しい 1 日でした。



避難されている方々に心の支援を

市内4RC 合同社会奉仕事業

三条南ロータリークラブ会長 鈴木 罔彦

三条市内 4RC（三条、三条南、三条北、三条東）ではこれまでに、東日本大震災後、義援金や支援物資を寄贈して参りましたが、今年度は、4 クラブ合同で「心の支援」をテーマに、被災された皆様に応援してゆきたいと考え、8 月 28 日（日）、三条市中央公民館大ホールで「がんばろう日本！復興応援チャリティー寄席とフルートコンサート」を開催致しました。

震災直後より今日まで、多くの被災された方々が三条市に在住されています。福島県南相馬市を中心に避難されている皆様を、行政とは別な形でロータリアンが何か支援できないものかと、4 クラブで会合を重ね、計画したものでした。そして、この計画に三条市と縁の深い三遊亭金時師匠をはじめとする一門の皆さん、それに 地元で演奏活動をされている音楽グループ「アンサンブルゼフィール」の皆さんがご賛同くださり、この会が実現しました。

当日は、避難されている方々、市民ボランティアとしてお手伝いされている方々を中心にお招きし、会場の 550 席は満席。別室にモニターを用意するほど多くの皆様にお越しいただきました。



企画、運営、そして暑い中での駐車場誘導等々、全てを 4 クラブ会員で担当した手作りの会……。避難されている方々に、『たまの息抜き、癒しの時間を持つことの大切さ。美しい音色に心癒し、落語で大いに笑い、心弾ませ明日への活力となりますように。そして“みんなががんばろう”』の 4 クラブメンバーの応援メッセージが届いたでしょうか。

満面の笑顔で、「ありがとうございました」と、声をかけて帰られる皆さんの姿に、ほっと胸をなでおろし、今回の社会奉仕事業を盛会裏に終えることができました。

これからも、私達ロータリアンに何が出来るのかメンバーみんなで考えながら、支援を続けて行ければと思っています。



新 入 会 員

荻 和憲

水原 RC
入会日:2011 年 9 月 14 日
会社名:
役職:団体役員

佐藤 文恵

豊栄 RC
入会日:2011 年 9 月 1 日
会社名:スナックさくら
役職:経営者
職業分類:軽飲食業

斎藤 秀明

新潟南 RC
入会日:2011 年 10 月 5 日
会社名:(株)サイタメ
役職:代表取締役社長
職業分類:農業資材販売

山口 武彦

新潟北 RC
入会日:2011 年 9 月 12 日
会社名:ファースト・ステップ
役職:代表
職業分類:ホームページ制作

野口 修一

長岡西 RC
入会日:2011 年 10 月 6 日
会社名:越後交通整備(株)
役職:代表取締役社長
職業分類:車両整備

喜多 美俊

水原 RC
入会日:2011 年 10 月 1 日
会社名:安田設備工業(株)
役職:代表取締役社長

磯部 由美子

中条胎内 RC
入会日:2011 年 9 月 2 日
会社名:(株)三津和
役職:代表取締役
職業分類:電気機器

山本 守

佐渡南 RC
入会日:2011 年 10 月 1 日
会社名:山本守税理士事務所
役職:所長
職業分類:税理士

佐藤 伸一

三条北 RC
入会日:2011 年 10 月 1 日
会社名:(有)ケンオーデリバリー
役職:取締役
職業分類:運送業

田中 利孝

長岡西 RC
入会日:2011 年 10 月 6 日
会社名:(株)越後交通鉄工所
役職:常務取締役
職業分類:鉄工業

山岸 順一

水原 RC
入会日:2011 年 10 月 1 日
会社名:太陽信用組合
役職:理事長

堀川 雅弘

新潟南 RC
入会日:2011 年 10 月 5 日
会社名:堀川事業(株)
役職:代表取締役
職業分類:不動産管理

嘉瀬 清

新潟北 RC
入会日:2011 年 9 月 3 日
会社名:(株)新潟映像技術
役職:代表取締役社長
職業分類:テレビ番組制作

笹川 正子

長岡西 RC
入会日:2011 年 10 月 6 日
会社名:(有)光明舎
ささがわコンタクトレンズ
役職:代表取締役
職業分類:医療機器用品

青木 光達

高田東 RC
入会日:2011 年 8 月 22 日
会社名:あおき味噌(株)
役職:代表取締役社長
職業分類:味噌醸造

物 故 会 員

心よりご冥福をお祈りいたします。

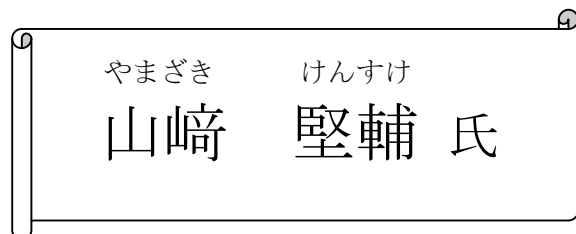
渡邊 義明

白根 RC
ご逝去日:2011 年 9 月 28 日(享年 71 歳)
会社名:新潟ステンレス加工(株)
役職:会長
職業分類:ステンレス加工

高村 武

糸魚川中央 RC
ご逝去日:2011 年 10 月 19 日(享年 89 歳)
会社名:(株)高村工務所
役職:会長
職業分類:建築
1985～1986 年 会長
1987～1988 年 第 7 分区代理

2013-2014 年度 ガバナーノミニー決定！



第 1 分区
中条ロータリークラブ

生年月日 昭和 13 年 9 月 2 日

職 業 山崎鉄工株式会社

役 職 代表取締役会長

団体歴

2001 年 6 月～07 年 5 月	新潟県公安委員会委嘱 警察署協議会委員
2002 年 4 月～	新発田社会保険委員会 副会長兼胎内支部長
2003 年 5 月～	胎内年金受給者協会会長
2004 年 10 月～08 年 10 月	社会福祉法人七穂会理事長
2009 年～	中条町商工会監事（監査役）

ロータリー歴

1966 年	中条ロータリークラブ入会
1968～69 年度	クラブ幹事
1977 年	退会
1988 年	中条ロータリークラブ再入会
1991～92 年度	クラブ会長
1993～94 年度	地区環境保全委員及び地区発展委員会委員
1994～95 年度	地区環境保全委員会委員長
1996～97 年度	地区オン・ツー・グラスゴー委員会委員長
2000～01 年度	地区クラブ奉仕大委員長
2004～05 年度	地区第 1 分区アシスタントガバナー

1993 年 ポールハリスフェロー

2002 年 米山功労者

第2560地区 2011-12年度 9月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会 員 数			
			7月1日 現在	9月末 会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	／	86.50	332	335	30	3
新発田	3	99.57	79	80	0	1
村上	4	75.71	35	35	6	0
水原	4	86.05	21	22	1	1
中条	4	85.00	35	35	2	0
新発田城南	4	91.08	44	43	6	-1
豊栄	4	95.45	21	22	4	1
新発田中央	4	88.83	46	47	3	1
中条胎内	4	78.57	28	28	4	0
村上岩船	3	78.26	23	23	4	0
第2分区(9クラブ)	／	77.19	392	410	21	18
新潟	4	87.15	77	87	0	10
新潟東	4	93.99	54	55	3	1
新潟南	4	86.25	71	73	0	2
佐渡	0	0.00	14	15	0	1
新潟西	4	79.29	34	36	1	2
佐渡南	4	98.18	44	44	6	0
新潟北	3	88.45	36	38	0	2
新潟中央	4	86.36	22	22	2	0
新潟万代	3	75.00	40	40	9	0
第3分区(6クラブ)	／	85.33	148	149	6	1
新津	4	83.00	25	24	0	-1
村松	4	93.75	7	8	0	1
五泉	5	86.00	22	22	2	0
白根	5	88.19	49	51	2	2
新津中央	4	86.04	35	34	1	-1
阿賀野川ライン	4	75.00	10	10	1	0
第4分区(11クラブ)	／	83.78	372	376	20	4
三条	4	86.87	52	53	0	1
燕	4	72.11	26	26	0	0
加茂	5	76.40	38	39	5	1
三条南	3	91.85	48	49	0	1
分水	4	92.90	32	31	2	-1
見附	5	75.00	16	17	1	1
吉田	4	84.00	37	37	3	0
三条北	4	78.36	66	67	3	1
巻	3	95.20	14	14	0	0
田上あじさい	4	80.00	5	5	1	0
三条東	4	88.89	38	38	5	0

R C	例会数	出席率	会 員 数			
			7月1日 現在	9月末 会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)		90.71	297	304	26	7
長岡	4	88.71	41	43	2	2
柏崎	4	90.56	44	45	0	
長岡東	5	90.20	68	68	6	0
柏崎東	3	94.07	43	45	2	2
栃尾	3	92.75	22	23	0	1
長岡西	5	85.99	38	39	4	1
柏崎中央	3	92.68	41	41	12	0
第6分区(6クラブ)		85.06	149	152	10	3
十日町	4	93.75	32	32	0	0
小千谷	4	77.66	33	36	4	3
雪国魚沼	4	80.30	22	22	2	0
十日町北	4	95.00	25	25	2	0
津南	3	86.67	25	25	2	0
越後魚沼	4	77.00	12	12	0	0
第7分区(9クラブ)		79.63	319	325	20	6
高田	4	87.02	69	70	1	1
直江津	4	80.29	44	44	2	0
新井	4	70.72	33	35	2	2
糸魚川	5	76.78	36	36	0	0
妙高高原	5	60.00	6	6	0	0
高田東	3	91.89	36	37	2	1
糸魚川中央	4	78.47	36	36	0	0
頸北	4	92.20	16	16	1	0
越後春日山	5	79.27	43	45	12	2

クラブ数	57	クラブ
7月1日 会員数	2,009	人
9月末 会員数	2,051	人
女性会員数	133	人
純増減会員数	42	人
当月平均出席率	85.16	%



2011 年 10 月 13 日発行 [月刊]
(財)ロータリー米山記念奨学会

ハイライトよねやま 139

1 寄付金速報 — 10 月は米山月間 —

9 月までの寄付金は前年同期と比べて 6.7%減、約 2,400 万円減少の 3 億 3,500 万円となりました。普通寄付金が 1.7%減、特別寄付金が 13.4%減と、出足の悪かった普通寄付金が前年度並みに戻りつつあります。前月号でもご案内しましたが、普通寄付金も税制優遇の対象となっていますので、領収証をご希望の場合には申請期限の 10 月末日までにデータをご提出ください。

10 月は米山月間です。10 月から 12 月までの 3 カ月は、1 年間の特別寄付金の約半分をご送金いただいている重要な時期です。月間用資料をご活用いただき、当会事業への理解を深め、更なるご支援をよろしくお願い申し上げます。

2 GETSで米山奨学事業を紹介

9 月 8 日に都内で開催されたガバナーエレクト研修セミナーで、板橋敏雄理事長と坂下事務局長が 40 分間、米山記念奨学事業の現況説明を行いました。また、配偶者プログラムでは、DVD「素晴らしい贈り物」12 分版を上映後、米山学友 2 人がスピーチをしました。

ネパール政府の公式通訳者であり、テレビのコメンテーターとしても活躍中のジギャン・クマル・タパさん（ネパール／2008-09／横浜たま RC）は、来日して直面した苦労話やネパールの教育事情、米山奨学生となって得たロータリーとの絆について、時に笑いを誘いながら聴衆を惹きつけました。母国の子どもに絵本を贈り、女性の自立支援活動に携わるチャンタソン・インタヴォンさん（ラオス／1983-86／東京銀座 RC）も、「今、私がこうした活動を頑張れるのはロータリーに出合ったおかげ」と力説しました。2 人のスピーチ後は活発な質疑応答がなされ、「もっと話を聞きたかった」と、名残を惜しむ声が聞かれました。



質疑応答に答えるタパさん(左)チャンタソンさん(右)

3 米山月間にご活用ください

米山って何？寄付の成果は——？米山奨学事業をロータリアンにご理解いただくためには、奨学生・学友の声を直接お聞きいただくことが一番ですが、米山月間資料として全クラブにお送りした資料に加え、下記の資料をお使いいただけます。

★映像で！→ホームページから視聴できます。ご要望があれば DVD をお送りします

ラインアップ

- 駐日韓国大使として活躍する米山学友、権哲賢氏特別インタビュー（14 分）
- 学友の活躍を紹介「心つないで、世界へ」（15 分）
- 学友が語る母国の女性の自立支援（13 分） ほか

★パワーポイントでプレゼン！ HP からダウンロードできます。
説明者用メモ付き。

★新ポスター（写真右） 10 月 20 日頃、ガバナー事務所宛てに送付。在庫がある限りクラブからも注文可能（無料）

★バナースタンド（写真左） 巻き取り式でコンパクト収納。8,000 円。
注文から 1 週間ほどで納品できます。



台風 12 号によって、大きな被害の出た第 2640 地区（大阪府南部・和歌山県）。「現地で少しでも役立ちたい」と同地区学友会から声が挙がり、9 月 24・25 日の 2 日間、奨学生 10 人と地区米山委員会メンバーら 9 人が被災地に赴き、浸水した家屋のふき掃除や家財の運び出しなどのボランティア活動を行いました。

参加した奨学生の一人、中国出身の曲航萍さん（富田林 RC）は、「被災地の様子を実際に見て、非常に心が痛みました。これからの生活はとても大変だと思うので、少しでも力を貸したい。希望を伝えたい」と語りました。また、ともにミャンマー出身のピューピューテッコさん（貝塚 RC）とピョピョウエーさん（関西国際空港 RC）は、「ロータリアンの皆さんに教えていただいたのは、人となりが助け合う精神。片付けたお家の方から、笑顔で『ありがとう』と言われたときは、思わず涙がこぼれるほど感動しました」と、揃って感想を寄せてくれました。

同地区米山奨学委員長の谷野一彦氏は、「今回、学友会の学生たちから申し出てくれたことがとても嬉しく、彼らの気持ちを形にしたいと思いました。参加した奨学生は皆、一生懸命がんだり、達成感を感じたようです。今後の活動にもプラスになるでしょう」と、語っています。今回の活動は、9 月 27 日付の地元紙・熊野新聞の一面に掲載され、紹介されました。



10 月 7 日、山形市内のホテルで「モンゴル国際フォーラム」（主催：山形北 RC）が開かれ、かつて山形北 RC の米山奨学生だったジャンチブ・ガルバドラッハさんと、彼が母国に設立した「新モンゴル高校」の卒業生 8 人が、それぞれの夢や日本の留学生生活を語りました。

ジャンチブさんが米山奨学生だったのは 1998～99 年。「モンゴルに国際標準の 3 年制高校を作りたい」という彼の夢を、山形北 RC を中心に多くの一般の人が「柱一本の会」の会員となって支援し、2000 年に新モンゴル高校が設立されました。10 年が経った今、屈指の私立高校へと成長しています。「ジャンチブは今でも皆の気持ちを胸に頑張っている。10 年の節目を迎えて、われわれとの絆がまだしっかりとあることを確認し、柱一本の会に協力してくれた人たちや、当時を知らないロータリアンに、その後のことを知ってもらいたい」と、この企画を発案した酒巻満会員は言います。会場には柱一本の会の元支援者や地元の高校生など約 120 人が集まり、熱心に耳を傾けました。



「新モンゴル高校はすでに“良い学校”ですが、今後は“偉大な学校”にしたい。偉大な学校とは、卒業生一人一人が人類のために尽くし、幸福な人生を送る人間になること。私は“人”の懸け橋を作りたい」と、ジャンチブさんは今後のビジョンを語りました。

スピーチした卒業生の一人、映画監督になる夢を持って桜美林大学に通うゾルジャルガルさんは、「私がここに立っているのは皆さんのおかげ。皆さんは、ジャンチブ先生の学校を作る夢を応援してくれただけではなく、私を含め卒業生の夢も応援してくれた。そのことを毎日、心から感謝しています」と述べ、ジャンチブさんへの支援が若い世代の夢を育て、何倍にも広がり開花していることを感じさせました。この日の夜、8 人の卒業生たちはそれぞれ山形北 RC 会員の自宅にホームステイし、新たな絆を育みました。

平成 23 年 10 月 25 日

ガバナー 各位

ロータリー文庫運営委員会
委員長 新藤 信之

拝 啓

菊花の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。また常々文庫へのご協力を心から感謝致しております。このたびは、下記 8 点をご紹介しますので「ガバナー月信」にご掲載下さるようお願い致します。なお今後ともご活躍とご成功を心からお祈り致しております。

敬 具

追 伸 下記ご掲載の場合は〔申込先〕もご記載下さるようお願い致します。

文 庫 通 信 (290号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約 2 万 3 千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ガバナーマンスリーから

- ◎「RI テーマの解釈」 田村泰三 2011 1p (D.2710 月信)
- ◎「東西ロータリーの温度差」 久野 薫 2011 5p (D.2680 月信)
- ◎「あなたの背中で会員増強を」 久野 薫 2011 4p (D.2680 月信)
- ◎「会員増強について－急がば回れ」 上野 操 2011 1p (D.2580 月信)
- ◎「会員増強および拡大月間にちなんで」 模 泰吉 2011 1p (D.2680 月信)
- ◎「次の時代を担う若手会員の増強とベテラン会員に敬意を」
松田健一 2011 1p (D.2600 月信)
- ◎「クラブ・リーダーシップ・プラン(CLP)について」
小林完治 2011 1p (D.2690 月信)
- ◎「規定審議会(CL)について」 服部芳樹 2010 3p (D.2630 月信)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前 10 時～午後 5 時 休館＝土・日・祝祭日



ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2560

国際ロータリー第 2560 地区 2011-12 年度ガバナー事務所

〒951-8053 新潟市中央区川端町 2-12

TEL: 025-201-7802 FAX: 025-201-7803 E-mail: ishimoto@rid2560niigata.jp

ホームページ URL <http://www.rid2560niigata.jp/>